

## 就職活動の環境変化に対応する大学の挑戦

# 合同説明会で学生の視野を広げ 納得度の高い就活の実現を支援

多くの大学がキャリア支援イベントにおける学生の集客に悩む中、工夫を凝らした企画で学生の参加意欲を高めている三重大学。参加率を高めるに至ったアイデアと、背景にあるキャリア支援への考え方について聞いた。

## 三重大学キャリアセンター



キャンパス／三重県津市 学生数／5,884人  
学部／人文、教育、医、工、生物資源  
キャリアセンター構成員／16名（専任10名、兼任1名、非常勤5名）

## 「想定を超えた」学生参加の新プログラム

### ガイダンスと合説の2本立てで 学生の不安感を取り除く

三重大学のキャリア支援の核となる取り組みが、2023年度から10月に実施している「後期スタートアップガイダンス（OB/OG交流セミナー）」だ。対象は1～3年生および修士1年生で、3年生と修士1年生は参加必須となっている。就職活動が本格化する前に、スケジュール感をつかみ、合同説明会（合説）の受け方について学ぶことが取り組みの目的だ。

プログラムは2部構成。第1部の「後期スタートアップガイダンス」では、就職支援会社が就職活動の進め方や、効果的な合説の参加方法について解説する。第2部の「OB/OG交流セミナー（合説形式）」は、卒業生が勤める企業の話を通じて、学生がキャリア形成について考えるきっかけをつくる。そして、このセミナーの特長は、一方的に話を聞くだけの講演形式ではなく、ブースに分かれた合説形式である点だ。1ターム30分の全4ターム制で、最後に25分のフリータイムが設けられ

ている。キャリアセンターの小倉萌那氏は次のように語る。

「合説での動き方や、ブース内での振る舞い、質問のしかたなどがわからず、不安を抱いている学生が少なくありません。そこで、まずは座学のガイダンスによって合説の基礎知識を学んだうえで、就活未経験の学生たちが一緒に合説に参加するというステップを踏むことで、心理的な負担を取り除きたいと考えました」。

## 就職が容易な状況だからこそ、 広い視野で企業を選んでほしい

取り組みを企画したきっかけは、就職ガイダンス系のイベントの参加者が少なくなってきたことにある。そのため、学生の関心を高めるために、従来、別々に行っていた就職ガイダンスと合説を同時に行うことにしたという。

加えて、できるだけ正確な情報を学生たちに伝えたいという狙いもある。「就職活動に関する情報は、インターネット上大

量に出回っており、学生は容易に入手できます。ただし、YouTube動画やAIによる解説の中には、不確かな情報も多い。そのような情報に学生たちが振り回されることを防ぎ、大学が持つ確度の高い情報をきちんと届けたいと考えました。そのために、このイベントは参加必須のものとして学生に案内しています」（小倉氏）。

学生が参加しやすくなるような工夫も随所に施した。例えば会場の配置は、第1部のガイダンスを講堂の大ホールで行い、ホールを抜けた場所に第2部の合説会場を設けた。学生の足が自然と第2部に向くようにするためだ。

また、第2部については、同大学の卒業生が多い企業をキャリアセンターが選んで参加を募り、2024年度は三重県に本社や拠点を置く70社を集めた。当日は可能な限り卒業生にも参加してもらうよう企業に要請している。仕事の都合で来られない場合もあるが、企業ごとに「OB・OGが〇名在職」と明示することで、学生がその企業を身近に感じられるようにした。

学生向けのパンフレットには、各企業が採用したいと考えている学部名も示している。これにより、学生がより「自分事」としてそれらの企業を見られるようになる。さらに、「理系でなければ入社できない」と思われがちな企業であっても、文系学部にも門戸を開いていることが少なくない。

令和6年度  
後期スタートアップガイダンス  
三重大学OB/OG交流セミナー

先輩たちが就職した企業70社が集結！  
企業の方から直接話を聞ける貴重な機会です！

開催日時  
2024 10.20 日 13:00-16:50

開催場所  
三重大学三翠ホール

対象  
1～3年生・修士1年生

内容  
13:00-14:00 ●第1部 後期スタートアップガイダンス  
✓後期からの就職活動についてのガイダンス  
14:10-16:50 ●第2部 OB/OG交流セミナー  
✓合説形式70社  
✓(各チーム30分+移動時間5分)×4チーム  
✓4チーム終了後フリータイムあり

●スーツ着用推奨 ●学生証持参  
●Moodleから申込み  
<https://moodle.mie-u.ac.jp/moodle35/course/view.php?id=20884>  
<問い合わせ先>キャリアセンター  
TEL: 099-225-3196 Mail: csp@mie-u.ac.jp

イベントの告知ポスター



2023年度開催時の企業ブースの様子

事前にそのことを学生に知らせることで、特に文系学生の参加意欲を高める狙いもある。

一連の工夫は、単に参加率の向上だけが目的ではない。「合説を通して学生の視野を広げたい」と小倉氏は語る。「学生はどうしても知名度の高い企業だけに目を向ける傾向があります。企業も本学の学生を高く評価しており、特に理系の学生は引く手あまた。深く企業研究をしたり、自分の興味がある業界以外の企業情報を集めたりしなくても、比較的容易に就職ができてしまう現実があるため、そうした手軽さがミスマッチを生じさせるのではないかと危惧しています。一般に知られていなくても優良な企業はたくさんあります。さまざまな企業をフラットな目で見、視野を広げたうえで、自分に合う就職先を見つけてほしいと考えています」。

### 「最初の一步を踏み出せた」 学生の就活への意識が高まる

学生への周知は、ポスター（画像参照）

やメールなどを利用している。各学部の就職担当教員を通して直接参加も呼びかけた。特に第2部について、「三重大大学の学生を採りたいと言っている企業が70社集まります」と、対象があくまで三重大生であり、一般の合説とは意味合いが異なることをはっきりと謳って学生の興味を引いた。その結果2024年度は前年と同水準の420名の参加。情報を届ける工夫が機能し、セミナーの重要性が多くの学生に届いた。

イベントに参加した学生からは「知らなかった企業を知ることができた」「合説に参加しなくてはいけないと思いつつ、どうすればよいかわからなかった。一步を踏み出せてよかった」などの声が寄せられた。就活に向けた不安感を和らげ、企業選びの視野を広げるという目的を一定以上果たす結果になっている。

## キャリア支援の背景にある考え方

### 生涯にわたってキャリアを 形成していく視点を持たせる

同大学では、低学年時からのキャリア観の醸成を重視している。本記事で紹介したイベントを1・2年生にも開放しているのはそのためだ。2024年度は参加者を増やすため、1・2年生も対象であることをリーフレットに明記した。「大学としては、必ずしも就職活動の早期化を推奨しているわけではありません。しかし、企業の採用活動

自体が早期化する中、学生がその波に乗れずに出遅れてしまう事態を避けるため、低学年の学生にも適切な情報を提供したいと考えています」（小倉氏）。

同大学ではキャリア教育を、「多様で変化に富む社会に適応する社会的・職業的自立と人格の形成を生涯にわたって培う教育」と位置付けている。就職先の決定だけを目的としたキャリア支援ではなく、人生をどのように歩んでいくのか、長期的かつ幅広い視野で考える力を育てたいと考

える。

「例えば、就きたい職業に対して目標がある程度、入学時点から定まっている学生であっても、さまざまな企業や職業を見たいうえで、それでもなおその職業に就きたいのかを自問してほしい。たくさんの選択肢の中から自分自身で選ぶというプロセスを踏むことが、就活の納得度を高め、充足感のあるキャリアを形成していく第一歩になるのです」(小倉氏)。

課題は、キャリアセンターの機能をさら

に多くの学生に知ってもらうことだ。同センターでは2人のカウンセラーが常駐し、個別相談やエントリーシートの添削、面接対策などを行っている。小倉氏は言う。

「こうした取り組みを知ってリピーター化する学生は徐々に増えています。まだ知らないという学生への周知はもちろん、知っているでも『自分には必要ない』と考えている学生に、キャリアセンターの魅力をどのように伝えていくかを考えていきたいと思